

再評価結果（令和5年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・技術課  
担当課長名：長谷川 朋弘

事業名	東北中央自動車道 東根～湯沢 (一般国道13号 金山道路)		事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 東北地方整備局
起終点	白：山形県最上郡金山町大字朴山 至：山形県最上郡金山町大字飛ノ森			延長	3.5 km	
事業概要	<p>東北中央自動車道は、福島県相馬市を起点として福島市、山形県米沢市、山形市等を経て秋田県横手市で東北横断自動車道釜石秋田線に連結する高規格道路である。</p> <p>金山道路は、東北中央自動車道の一部を構成する道路で、山形県最上郡金山町大字朴山～山形県最上郡金山町大字飛ノ森に至る延長3.5kmの自動車専用道路である。</p>					
H30年度事業化	— 都市計画決定		R元年度用地着手	R3年度工事着手		
全体事業費	約130億円	事業進捗率 (令和4年3月末時点)	約12%	供用済延長	— km	
計画交通量	7,000台/日					
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.1(1.4) (残事業) 1.4(1.7)	総費用 (残事業)/(事業全体) 579/6,945億円 事業費:457/5,949億円 維持管理費:119/957億円 更新費:3.4/39億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 794/7,810億円 走行時間短縮便益:679/6,270億円 走行経費減少便益:83/1,220億円 交通事故減少便益:32/320億円	基準年 令和4年		
感度分析の結果	<p>【事業全体】交通量変動：B/C=1.1～1.2(交通量 ±10%) 【残事業】B/C=1.2～1.6(交通量 ±10%)</p> <p>事業費変動：B/C=1.1～1.1(事業費 ±10%) B/C=1.3～1.5(事業費 ±10%)</p> <p>事業期間変動：B/C=1.1～1.1(事業期間±20%) B/C=1.3～1.4(事業期間±20%)</p>					
事業の効果等	<p>① 円滑なモビリティの確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現道等の年間渋滞損失時間の削減及び削減率 (渋滞損失時間：1.6万人・時間/年、渋滞損失削減率：約10割削減)</li> </ul> <p>②物流効率化の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性向上 (秋田県南地域から首都圏への特産品(イチゴ、しいたけ)出荷)</li> </ul> <p>③災害への備え</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象区間が山形県緊急輸送道路ネットワーク計画において、第1次緊急輸送道路に位置づけ 他5項目に該当</li> </ul>					
関係する地方公共団体等の意見	<p>○山形県知事の意見</p> <p>1 「対応方針(原案)」案のとおり、「継続」で異議ありません。</p> <p>2 金山道路は、東北中央自動車道に並行する一般国道の自動車専用道路で、冬期の交通規制や交通事故などによる交通機能の低下を解消することで、雪に強い道路ネットワーク構築が図られる極めて重要な路線です。</p> <p>このため、本県では、「第4次山形県総合発展計画」や「山形県道路中期計画2028」において“高速道路・地域高規格道路の整備”の重要性を盛り込んでいるところであります。また、令和3年7月策定の「新広域道路交通計画」において、本路線は広域道路ネットワークの“高規格道路”に位置付けております。</p> <p>引き続き、コスト縮減にも十分に配慮しながら、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」に基づく別枠の財源を確保するとともに、本事業にも充当するなどし、早期完成に向け、事業の推進をしていただくようお願いします</p>					

